

(3) 図書館以外の機関・団体との連携・支援に努め、子どもの読書活動の推進を図ります

ア 子どもの読書活動推進

全図書館に、「初めて出会う絵本コーナー」を開設しました。

「小さい子どもに、どんな絵本を読んであげたらいいかわからない」そんな声を受けて、全図書館に0歳から3歳までの乳幼児を対象とする絵本を集めたコーナーを開設しました。市内各区の福祉保健センターで母子健康手帳交付時に配布される「よこはま子育てガイドブックどれどれ」に掲載されている「初めて出会う絵本のリスト」（横浜国立図書館作成）に紹介されている絵本を中心に、図書館司書が読み聞かせた経験をもとに、子どもたちが喜ぶ絵本を集めたコーナーです。

図書館ホームページに、子どもの本の情報発信ページ「読んでみよう、こんな本」を開設しました。

子どもたちに読書をすすめるガイドとして、新しく出版された子どもの本の中から、図書館がおすすめする本を紹介するページ「読んでみよう、こんな本」を開設しました。絵本・物語など読みたい本の種類、幼児・小学校低学年など対象年齢別に本を一覧することが可能です。子どもの本を楽しむための羅針盤として、小さなお子さんから大人の方まで幅広く活用されています。

夏休み向け図書紹介リスト「読んでみよう、こんな本」を発行しました。

夏休みという長期休暇期間に、児童・生徒が読書に親しみ、また図書館利用のきっかけとなるよう、小学校低・中・高学年及び中学生の対象別に図書のリストを作成し、全市立小中学校に配布しました。年齢や読書経験など様々なレベルを想定して幅広く図書館の蔵書を紹介しています。

市民との協働事業として「本の世界をひろげよう 読み聞かせボランティアハンドブック」を編集・発行し、全図書館で配布しました。

「横浜市子ども読書活動推進計画」（平成17年12月策定）に基づき、子どもが自主的に読書習慣を身につけられるような環境を整備するため、教育委員会委託事業「子どもが本に親しむプロジェクト大作戦」実行委員会と協働して、学校や地域で、読み聞かせなどの読書活動を始めようとする市民のための冊子「本の世界をひろげよう」を作成しました。市民が主体となって、読み聞かせハンドブックを編集・発行するのは、本市では初めての試みです。



(A5版フルカラー
全36ページ)

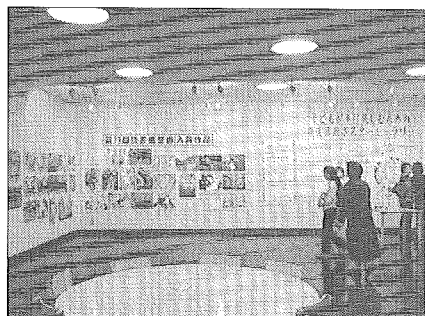
「横浜教育フェスティバル」の一環として、中央図書館で「読書フェスティバル」を実施しました。

横浜市小学校図書館研究会、「子どもが本に親しむプロジェクト大作戦」実行委員会との協働により、11月25日（土）、26日（日）に「読書フェスティバル」を開催しました。

地下ホールでは、25日に市立小学校教員等による“読み聞かせ劇場”や“アニメーション”、26日にノートルダム清心女子大学教授の協明子氏講演会「読む力は生きる力」を実施しました。1階「おはなしの部屋」では、市民ボランティアと図書館司書によるおはなし会を8回開催し、2日間で延べ338人の参加がありました。図書館司書によるおはなし会及びブックトークは、本の選び方・読み方・紹介の仕方などミニレクチャーつきで実施しました。

また、1階の展示コーナーでは市内小学生による読書感想画と市民ボランティアの活動についての展示を行いました。

*読書フェスティバルの詳細は、「9 利用状況(9)企画事業、その他の事業」P46 参照



展示コーナー



図書館司書によるミニレクチャーつきおはなし会



イ ボランティアへの支援

*ボランティア支援事業の詳細は、「9 利用状況(9)企画事業、その他の事業」P46 参照

読み聞かせ等ボランティア養成講座を実施しました。(神奈川・南・港南・保土ヶ谷・緑・都筑・瀬谷)

「おはなしボランティア養成講座」は、学校や地域で読み聞かせ等の活動を通じて、子どもの読書推進に取り組んでいる市民の方を対象とした実践講座です。

全館的な取組としては3年目を迎え、毎年6～7館を会場に実施しています。

いずれも2～3回の連続講座形式で、絵本の読み聞かせとストーリーテリングについて、基本的な知識や技術の習得を目的としています。

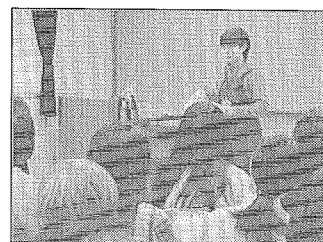
知識・経験の豊かな外部講師と共に図書館司書が実習指導の講師を務め、同時に図書館の蔵書の中から関連資料を紹介しています。18年度も多数の申し込みがあり、熱心な受講生の方々にご参加いただきました。

また、本講座のほかにもボランティアへの支援として、各図書館で資料の貸出や研修等への協力を行いました。



ボランティア交流会を、5館で行いました。(中央・港南・緑・栄・泉)

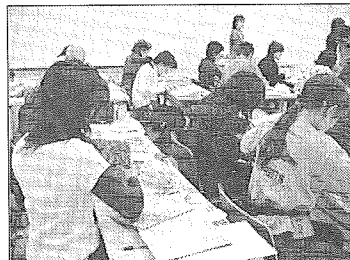
市内で活躍しているボランティアの、更なる自立的な活動を支援していくことを目的に、読み聞かせなどの活動を行うボランティア同士の情報交換の場として、5館でボランティア交流会を実施しました。図書館からは、読み聞かせや選書に関する相談を受けたり、絵本等活動に役立つ資料の紹介などを行いました。



港南図書館 ボランティア交流会

ボランティア向けの図書修理講座を行いました。

学校図書室や地区センター図書室・コミュニティハウス等、図書貸出施設において活動する市民ボランティアを対象に、実践的に「本の修理の基礎」を学ぶ、図書修理講座を行いました。受講生は、ページや表紙がはずれるなど修理が必要な本を持参し、講師の指導のもと、実際に修理実習を行いました。



ウ 学校教育への支援（学校連携事業）

平成17年に制度化した「教職員向け貸出」は、教職員の研修会等で広報した結果、延べ477回11,747冊の利用がありました。多くは国語科に関連した利用ですが、郷土資料に関するレファレンスや授業研究用の資料提供など、利用の幅が広がりつつあります。

図書館が提供する支援・協力サービスは、「学校向け来館利用案内」を作成し、広報しています。平成18年度は、教職員や読み聞かせボランティアを対象とした講習等の実施回数が増加しました。

また、12月に中央図書館で開催した再利用図書譲渡会にあわせて、新刊書の中から教科に役立つ本や、図書館ホームページ「読んでみよう、こんな本」で紹介している本を集め、学校図書館向け図書展示会を開催しました。

【平成18年度実績】

実施内容	延実施回数	延利用人数または冊数
図書館見学(まち探検・職業インタビュー含む)	193回	6,636人
おはなし会(読み聞かせ・ブックトーク等)	71回	5,633人
体験学習	83回	290人
調べ学習	55回	971人
その他(教職員向け講習等)	65回	1,276人
教職員向け貸出	477回	11,747冊